

会員は増やさねば減る、老化する！

組織部 浜田光国

今年、私の会（HC げんごろう）では夏から秋にかけて例会山行や特例山行が台風や雨天のため中止になり会員の交流、山歩きが出来ませんでした。その影響で、一般参加者の例会山行への参加や入会もありませんでした。みなさんの会では、会員拡大をどのように進めているのでしょうか。



さて、大阪労山の組織数（11月末）は2001年の1731名をピークに会員数がゆるやかに減少し、一昨年1348名、昨年は1275名となっています。会員数の減少は昨年のアンケートから、会員が高齢化により山登りが出来ない、結婚・育児、仕事（転勤など）で行く時間が取れない等により、幅広い年齢層で会員の退会が増えているようです。何もしなければ会員は減少すると考えられます。

組織部では各会の運営を活発にし、会員拡大を実現するために「各会のクラブ紹介」や6月に第1回「会員拡大についての話し合い」を取り組みました。この話し合いでは、兵庫労山所属の西宮明昭山の会の原水章行名誉会長に会の会員拡大の取り組みのポイントや歴史を語っていただきました。その話から、下記のような会員拡大の基本的教訓を学びました。

1. 会員は増やさねば減る、老化する。
2. 会・会員の愛着（愛情）が会員を増やす（維持）力になる。
3. 役員（幹部）の意識・姿勢が会員拡大の要である。
4. 会員の声かけやホームページの更新が会員拡大に重要。

第2回「会員拡大についての話し合い」は11月26日（月）に取り組みます。今回はハイキングセミナーの卒業生を中心に発足した会に集ってもらい話し合いを行います。初めての試みですので、非常に楽しみにしています。

今年も、来年度の連盟費算出のための「11月末現在の組織数提出」をお願いします。この機会に、各会で会員数の現状把握や、会員拡大について話し合っは如何でしょう。組織数の提出締め切りは12月13日（木）までです。よろしくお願ひ致します。

「各会1名以上の会員拡大を！」組織部